

総合分析

試験区分 一般

制限時間 60分(理科2科120分) 大問数 全4問

合格に要する能力 (5段階)



出題分野

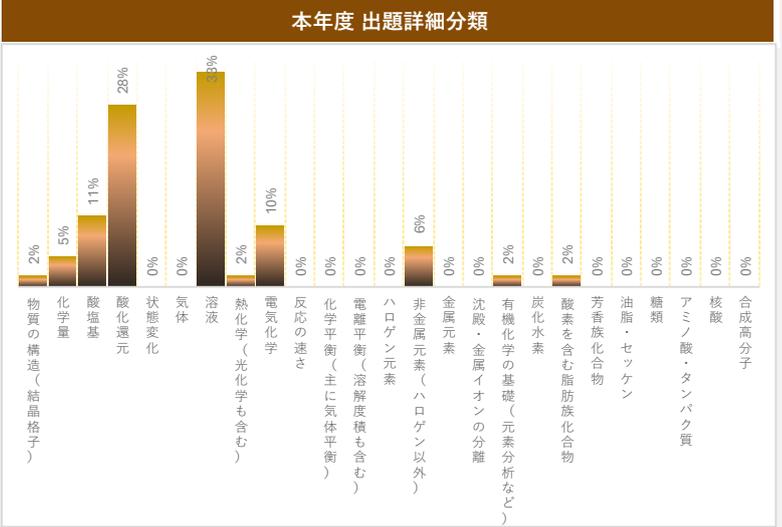
理論	90%
無機	6%
有機	3%

本年度出題テーマ一覧

第1問	正誤選択問題
第2問	硫酸
第3問	溶解度
第4問	酸化還元反応

本年度 解答形式

選択肢 100%



合格に要する能力 (5段階)

知識力	2.7	物質, 反応, 解法の知識
読解力	3.0	問題文から必要な情報を抽出できるか
計算力	3.5	手際よく正確に計算できるか
思考力	3.0	基礎知識や問題文から推測する力
見極力	3.5	解きやすい問題を選択する力

特殊問題の有無	数値計算あり	グラフあり	正誤問題あり	理由記述なし	図表あり
---------	--------	-------	--------	--------	------

特記事項 今年度は有機化学・高分子化学の出題が非常に少なかった。

総合評価

難度	3.1	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想)	75%
分量	60分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	標準	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策 強い特徴や偏りが無いバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校化学の学習でよい。

入試から見る 大学が求める学生像 今年度はだいぶ解きやすい問題が多いが、例年面倒な処理・思考をする必要がある問題が多く、問題の見た目に圧倒されず根性で解くことができるかが求められている。また、大問1の正誤問題は些細なところが誤っていることが多いため、十分な注意力を要する。問われている内容自体は案外標準的な内容であるため、問題形式に慣れる必要があるだろう。